

平成 27 年度 事業計画

1. 一般社団法人日本肝臓学会定款(以下「定款」という。)第 4 条第 1 項の規定に基づいて、以下のとおり、学術集会を開催し、学術誌・学術図書を発行する。また、研究の奨励、研究業績の表彰等を行なう。

(1) 学術集会の開催

- ① 日本消化器関連学会(JDDW)の第 22 回日本消化器関連週間に第 19 回大会として参画する。

名称	期間・会場	会 長
第 51 回総会	平成 27 年 5 月 21 日(木)～5 月 22 日(金) 〈5 月 23 日(土)〉 熊本市：ホテル日航熊本他	佐々木 裕 熊本大学生命科学研究部 消化器内科学
第 19 回大会 (JDDW2015)	平成 27 年 10 月 8 日(木)～10 月 9 日(金) 東京都：グランドプリンスホテル新高輪他	鹿毛政義 久留米大学病院 病理部
第 41 回西部会	平成 27 年 12 月 3 日(木)～12 月 4 日(金) 名古屋市：名古屋国際会議場	吉岡健太郎 藤田保健衛生大学 肝胆膵内科

総会、部会の登録料は、15,000 円とし、初期研修の医師、コ・メディカルについては 5,000 円、学部学生については無料とする。

なお、初期研修の医師、コ・メディカル、学部学生に関する登録料については、第 41 回西部会から実施する。

- ② 『第 2 回肝臓と糖尿病・代謝研究会』は日本糖尿病学会と連携して開催する。

第 2 回 肝臓と糖尿病・ 代謝研究会	平成 27 年 5 月 23 日(土) 下関市：シーモールパレス 糖尿病学会第 58 回年次学術集会に開催。	谷澤幸生 山口大学医学系研究科 病態制御内科学
---------------------------	--	-------------------------------

- ③ EASL・JSH workshop 2015 年 4 月 25 日(土) 14:00-15:30 ウイーン

Topics are HCC and related diseases 座長 Kazuhiko Koike・EASL:TBD

「Exploring the Stemness of Hepatocellular Carcinoma」 Taro Yamashita

「Surveillance, Treatment and Outcome of HCC in Japan」 Masatoshi Kudo

EASL への派遣旅費・宿泊費については、シニアで 60 万円、ジュニアで 30 万円を限度として負担する。各人は、旅費及び宿泊費の領収書を提出して請求する。

(2) 学術誌・学術図書の発行

- ① 和文誌『肝臓』 第 56 巻 4 号～12 号, 57 巻 1 号～3 号までの 12 号及び第 51 回総会, 第 19 回大会, 第 41 回西部会の抄録を刊行する。
- ② 欧文誌『Hepatology Research』 Vol45, No4～12, Vol46, No1～3 の 12 号を刊行する。論文掲載の遅れを考慮し、執筆者に確認の上、一部をオンライン出版する。
- ③ その他
- 『肝がん白書』を出版する。
 - 『NASH・NAFLD の診療ガイド 2015』『肝癌診療マニュアル改訂版』を出版する。
 - 日本肝臓学会 NASH 診断 WG で、『NASH・NAFLD の診療ガイド 2015』を作成する。
 - 『肝炎治療ガイドライン』の改訂作業を継続する。

- 『肝臓診療ガイドライン第4版』の発刊に向けて作業を開始する。
- 一般市民向け、医療従事者向けのパンフレット改訂版を発行する。

(3) 研究の奨励、研究業績の表彰

- ① 最も優れた研究成果をあげた会員に「織田賞（学会賞）」を授与し、奨励金(200万円)を交付する。
- ② 会員の研究奨励のため、8名を限度として「研究奨励賞」を授与し、奨励金(1件50万円)を交付する。
- ③ 日本肝臓学会機関誌 High Citation 賞を選び、その筆頭著者に奨励金(1件10万円)を交付する。
 - 肝臓 1篇
 - Hepatology Research Review article (含 Special Report) 2篇
 - Hepatology Research Original article (含 Short Communication, Case Report) 2篇
- ④ 中堅研究者の研究奨励のため、次の冠 Award を授与し、奨励金を交付する。
 - 第17回 AJINOMOTO Award
 - 第14回 OTSUKA Award
 - 第14回 MSD Award
 - 第6回 Bristol-Myers Award
 ※ 27年度から CHUGAI Award は、廃止することとした。
- ⑤ 国際学術集会の参加者に対する旅費等の助成(30人限度)を行う。
- ⑥ 外国人研修生の学術集会参加のため、旅費等の助成を行う。

2. 定款第4条第2項の規定に基づいて、以下のとおり、教育講演会を開催し、肝臓専門医を育成する。

(1) 教育講演会

一般社団法人日本肝臓学会教育講演会に関する内規に基づいて教育講演会を開催する。

名称	期日・会場	会長
前期 教育講演会	平成27年5月23日(土) 熊本市：崇城大学ホール	佐々木 裕 熊本大学生命科学研究部 消化器内科学
単独開催 教育講演会	平成27年8月16日(日) 東京都：砂防会館 (シェーンバッハ・サボウ)	田中榮司 信州大学医学部 内科学第二(消化器内科)
後期 教育講演会	平成27年12月4日(金) 名古屋市：名古屋国際会議場 センチュリーホール	吉岡健太郎 藤田保健衛生大学 肝胆膵内科

(2) 肝臓専門医制度

- ① 肝臓専門医制度に基づく施設の認定、指導医の委嘱及び肝臓専門医の更新・認定を行う。
 - 専門医認定試験 平成27年11月22日(日) 砂防会館(シェーンバッハ・サボウ)
 - 専門医更新締切日 平成27年12月中旬
 - 指導医・認定施設等の申請締切日 平成27年11月末日

② 専門医制度の改定に伴い、専門医の在り方について検討する。

新カリキュラム・プログラムについて検討し、新たに設置された「一般社団法人日本専門医機構」に対応するとともに、内科学会専門医制度や消化器病学会等とのすり合わせの作業を行う。

(3) 肝がんラジオ波焼灼療法技術認定制度の検討

RFA 技術認定検討委員会を設置して、制度の在り方、認定方法等について検討する。

3. 定款第 4 条第 4 項の規定に基づいて市民公開講座を開催し、各都道府県責任者のもとにおいて肝がん撲滅運動を展開する。

(1) 一般社会人の肝臓病に関する啓発のため、厚生労働省の後援を得て、肝臓週間(7月 27 日～8月 2 日)の日曜日に全国 5 ヶ所で市民公開講座を開催する。

開催日 平成 27 年 8 月 2 日(日)

○ 北海道地区 会 場 北海道大学医学部学友会館フラテ

責任者 坂本 直哉 (北海道大学医学研究科消化器内科学分野)

○ 関東地区 会 場 熊谷市立文化センター

責任者 持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)

○ 中部地区 会 場 名古屋市立大学病院 大ホール

責任者 田中 靖人 (名古屋市立大学医学研究科病態医科学講座)

○ 近畿地区 会 場 大阪大学中之島センター佐治敬三ホール

責任者 竹原 徹郎 (大阪大学医学系研究科消化器内科学)

○ 四国地区 会 場 愛媛県医師会館

責任者 日浅 陽一 (愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学)

(2) ウイルス肝炎研究財団主催の市民公開講座の開催地及び責任者を推薦する。

○ 九州地区 佐々木 裕(熊本大学生命科学研究部消化器内科学)

(3) ウイルス肝炎研究財団主催のパネルディスカッションを共催する。

(4) 肝がん撲滅運動

平成 11 年度から実施している「肝がん撲滅運動」は、今年度も各都道府県 50 箇所で市民公開講座や医療従事者向けの講演会等を開催する。

4. 会議の開催

定款及び定款施行細則等の規定に基づいて、理事会、評議員会(定時総会)を開催するとともに各種委員会を随時開催し、学会の運営等について審議する。

(1) 理事会

第 1 回定例理事会 平成 27 年 5 月 20 日(水) 熊本

第 2 回定例理事会 平成 27 年 10 月 7 日(水) 東京

第 3 回定例理事会 平成 28 年 3 月 日() 東京

(2) 定時総会(評議員会) 平成 27 年 5 月 21 日(木) 熊本

(3) 各種委員会

(4) 支部会関係

東部会世話人会	平成 27 年 10 月 8 日(木)	東京
東部会評議員会	平成 27 年 10 月 8 日(木)	東京
西部会世話人会	平成 27 年 12 月 2 日(木)	名古屋
西部会評議員会	平成 27 年 12 月 3 日(木)	名古屋

5. その他

(1) 平成 28 年度の評議員(代議員)改選, 役員改選の準備をする。

現評議員(代議員)の任期は, 平成 28 年 3 月 31 日であり, 平成 28 年 4 月 1 日から新たな評議員(代議員)を選出する。評議員選出委員会, 第 2 回定例理事会を経て, 募集し, 評価の上, すべての正会員の信任投票で決する。

(2) アンケートシステムの導入

会員を対象にした各種の調査が実施できるようアンケートシステムを整備する。

① HP にアンケート画面を設定する。ただし, 表示はせずに隠し URL とする。

URL への案内は, mail, E-News などでも通知し, いたづらを防止する。

② 設問は, 以下の構成とし, 質問事項は, 任意に組み合わせ, 追加できるものとする。

基本情報(固定) 年齢(5 歳刻み), 性別, 勤務地域(都道府県), 会員区分, 勤務先(種別)
診療科等, 専門医の有無

編集可能設問 選択式設問, 記述式設問を自由に組み合わせて編集できる。

③ アンケート調査が終了した時点で, 集計作業をし, Excel データとして保管できること。

(3) 事務局の整備

1 名欠員の後任には, 派遣職員を導入するとともに『肝臓』編集業務を外注化する。

庶務業務を補強し, 会計処理業務の精度を上げ, より効率的な処理を図る。